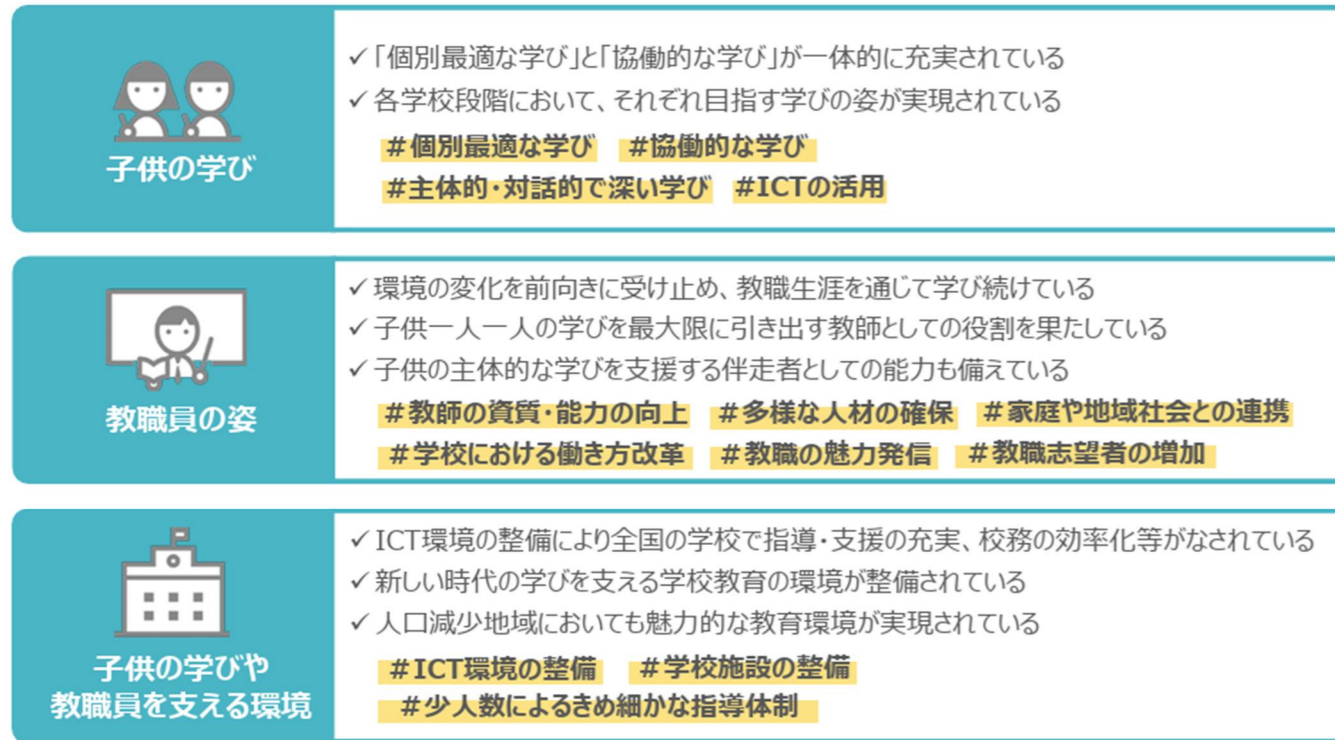


学校教育の新たな動向

1. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿




中央教育審議会答申では、2020年代を通じて目指す学校教育の姿として、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が示されている。



中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）（令和3年1月26日）より作成

2. 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方

文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」では、学校施設全体を学びの場として捉え直し、次の5つの方向性が示されている。

<p>学び</p>	<p>個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備 ・ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備 ・ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備 <p>＜教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="308 1520 647 1751">  <p>1人1台端末環境等に対応したゆとりある教室の整備</p> </div> <div data-bbox="658 1520 997 1751">  <p>多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応</p> </div> <div data-bbox="1009 1520 1347 1751">  <p>ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用</p> </div> </div>
<p>生活</p>	<p>新しい生活様式を踏まえた、健やかな学習・生活空間を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用） ・ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

<p>共創</p>	<p>地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出 ・ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等
<p>安全</p>	<p>子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保 ・ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化
<p>環境</p>	<p>脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進 ・ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

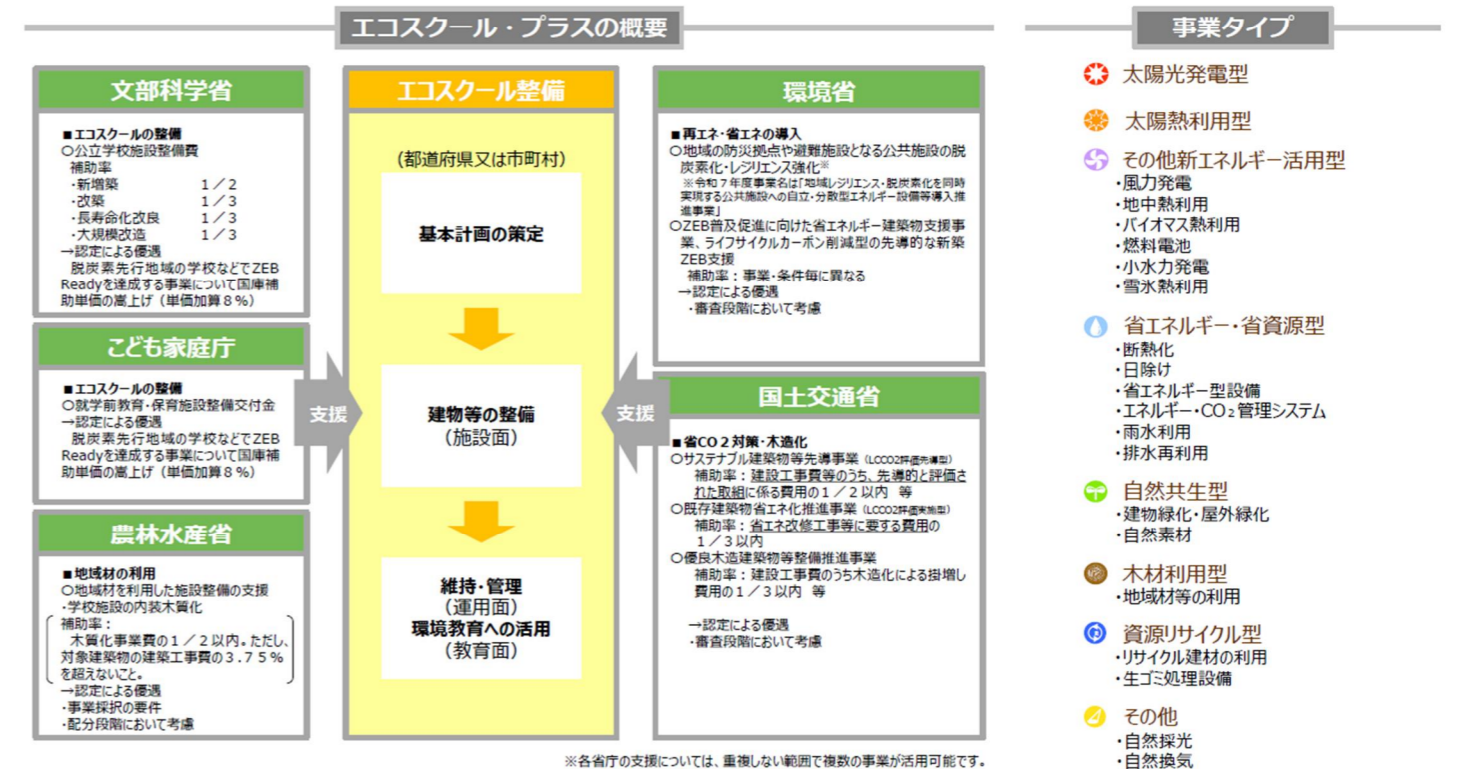
文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告（概要）より作成

3. 環境を考慮した学校施設整備を支援する仕組み

文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省等が連携協力する「エコスクール・プラス」がある。

エコスクール・プラスについて

- 文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省が連携協力して、学校設置者である市町村等がエコスクールとして整備する学校を「エコスクール・プラス」として認定しています。（平成29年度からエコスクールパイロット・モデル事業を改称）
- 認定を受けた学校が施設の整備事業を実施する際に、関係各省より補助事業の優先採択などの支援を受けることができます。また、「地域脱炭素ロードマップ（令和3年6月9日第3回国・地方脱炭素実現会議決定）」に基づく脱炭素先行地域などの学校のうち、ZEB Readyを達成する事業に対し、文部科学省、こども家庭庁から単価加算措置（8%）の支援を行います。



※各省庁の支援については、重複しない範囲で複数の事業が活用可能です。

文部科学省「エコスクール・プラスについて」より作成